

児童図書研究シラバス, I
児童の発達課題・絵本・伝承文学
Study of Children's Literature—Syllabus I
Child Development, Picture Books,
Traditional Literature

渡 辺 茂 男
Shigeo Watanabe

Résumé

Studies of children's literature may be divided into two categories; historical studies and studies by types of works. The former traces development of children's literature through ages generally extending its scope to contemporary social and educational background. The latter desects aspects of different types of children's literature and evaluates their values by established standards.

In the past, most of the studies of children's literature in Japan were of the historical approach and the subject treated in the studies was almost solely fiction by modern writers.

It is no question that Japan today is one of most advanced countries as far as publishing is concerned. The very interesting coincidence is that the number of new titles of children's books annually published during the past few years in U.S.A., Great Britain and Japan is approximately the same numbering about two thousand titles.

Yet general studies of children's literature in Japan is still way behind comparing with other two countries.

This syllabus based upon the lecture experience of the author at the School of Library and Information Science, Keio University tries to cover most outstanding types of children's literature. The types are arranged in such a way as to match developmental stages of children. Exemplary works and reference books, though limited to ones available at the library school collection and other limited sources, have covered foreign materials as well as Japanese equivalents.

(School of Library and Information Science)

児童図書研究シラバス, I

序

図書館・情報学科における「児童青少年文献 I」の講義経験に基づき、児童図書研究の一方法としての単元構成および参考文献を示すシラバスである。

児童図書研究の方法には、大別して歴史的アプローチとジャンル別アプローチの二つが考えられる。前者は教育史、文学史、出版文化史などと並行して、児童図書の変遷を歴史的に辿り、各時代の思潮が児童図書の上にどのようにあらわれたかを考察し、ひいては児童図書の時代の価値、古典的価値を分析しようとする方法である。後者は現状に立って、児童図書を絵本、文学、知識の本などに類別し、各ジャンルの図書の本質、評価の規準、代表的例の分析を行なう方法である。

このシラバスにおいては、後者の観点を、幼児から少年期(小学校高学年)に至る年令の発達課題に合わせて、児童図書のジャンルを配列し、各ジャンルの特質と、指導上の留意点、さらに読書指導の技術を同時に考察するように構成したものである。

目次

Syllabus I.

序論

- I. 児童の発達課題と読書興味
- II. 児童図書の領域区分
- III. 絵本
- IV. 伝承文学と児童文学
- V. 民話
- VI. 寓話・説話
- VII. 神話・伝説
- VIII. 叙事詩・サガ
- IX. ストーリーテリング

Syllabus II.

- X. ファンタジー
- XI. ストーリー
- XII. 歴史小説
- XIII. 伝記
- XIV. 詩
- XV. 知識の本
- XVI. 辞書・事典
- XVII. ブックトーク

序論

- 1. 児童観の推移
- 2. 子どもの生活と読書 (マスコミの影響)
 - 生活様式の変化
 - テレビの普及
 - 児童雑誌の量と質
 - 児童図書出版の現状
 - 学校教育の現状
- 3. 図書選択の意義
 - 選択の責任
 - 蔵書の量と質
 - 選択の三要素: 児童の理解・児童図書の基本的知識・蔵書の分析
- 4. 公共図書館と学校図書館
 - 学校教育と社会教育
 - 教育課程と自主的利用
 - 利用者: 地域性・年令・利用の動機・蔵書構成の差
 - 活動の差
- 5. 批評の態度
 - 批評の立場
 - 価値判断の基準と古典による尺度
 - 題材と表現
 - テーマ
 - オリジナリティー
 - 文体
 - 構成
 - ストーリーとプロット
 - 客観的作品と主観的作品
 - 古典的価値
 - 子どもの読み方

参考文献

- 小河内芳子編. 児童図書館. 東京, 日本図書館協会, 1967. 203p. (図書館の仕事20)
- Long, Harriet G. *Rich the treasure, public service to children*. Chicago, American Library Association, 1953. 78 p. 児童図書館への道. 友野玲子訳. 東京, 日本図書館協会, 1966. 118 p.
- Moore, Anne C. *My roads to childhood; views and reviews of children's books*. Boston, Horn Book, 1961. 399 p.
- 滑川道夫. マンガと子ども. 東京, 牧書店, 1961. 229 p.
- Smith, Lilian H. 批評の態度. <Smith, L. H. 児童

文学論。石井桃子等訳。東京、岩波、1964> p. 38-57。
依田新編。テレビの児童に及ぼす影響。東京、東京大学出版会、1964。260 p。
渡辺茂男。“児童図書館の現状,” *Library Science*, no. 5, 1967, p. 203-210。

I. 児童の発達課題と読書興味

1. 発達課題とは

定義 行動能力や対人能力の向上のため、また、家族や社会が彼に要求し期待するため、また、彼自身の興味、態度、価値観、抱負をしだいに明確にし、形成するために、児童にとって必要であり、望ましい課題である。

幼年期の発達課題

- (1) 運動機能の習得
- (2) 自分の身始末ができるようになる。
- (3) 周囲の生活のペースに順応する。
- (4) 家族および社会集団の一員になるプロセスを知る。
- (5) 愛情を受けるだけでなく、与えることを知る。
(感情的な安定感の育成に役立つ。)
- (5) 言語象徴、つまり、ことばの意味と機能を知る。
語 → 句 → 節 → 文章への発達
- (7) 感覚経験を通じて感情の動き、感動を知る。
五感を通じ、美的感覚の発達がはじまる。
- (8) 自然界、現実社会を知りはじめる。
- (9) 識別力、総合力、判断力の発達。
- (10) 規則(ルール)に従うことを学び、良心を養う。
- (11) 大人との相違、異性との相違を知る。

少年期の発達課題

- (1) 自我の目覚め、他人の存在を尊重するようになる。つまり、目的とルールが存在する学校という集団生活に順応するにつれ、自己を知り、他人を尊重するようになる。
- (2) 大人が存在しないピア・グループ(児童集団)の社会における自己の能力、役割、他の児童との関係を知る。
- (3) 大人の庇護から、意識的に独立するようになる。
- (4) 性の意識に目覚め、異性間の本質的相違に気づき、行動にそれがあらわれるようになる。また、性的要素に根源をもつ羞恥心をもつ。

(5) 運動能力の発達

(6) 知的概念、価値観など抽象的能力が発達する。

(7) コミュニケーション(表現・意志伝達・意味の理解など)能力が発達する。

2. 児童心理学との関連領域

感情と思考

思考と言語

知能と情操

3. 児童の基本的要求と読書

安全に対する要求—Security

従属に対する要求—Belong

愛情に対する要求—Love

達成に対する要求—Achieve

知的欲求—Intellectual

変化に対する要求—Play, Change

美的要求—Aesthetic

4. 発達段階と読書

幼年期前期 1~3 才

幼年期後期 4~5 才

学童前期 6~7 才

学童中期 8~9 才

学童後期 10~12 才

II. 児童図書の領域区分と分類

1. 定義上の問題点

文献と文学

Children's literature の種々な解釈

2. 児童図書の領域区分と分類

領域区分

分類

3. 児童図書の利用者

公共図書館における利用者

学校図書館における利用者

専門的利用者

参考文献

Adams, Bess Porter. *Walking along alone—Literature for the youngest. Looking up—Literature for early childhood. Behind the stars—Literature for middle childhood. Nothing else but miracles—Literature for later childhood. Look...and you will find—Literature for young adolescents.* <Adams, B.P. *About books and children; historical survey of children's literature*. N. Y., Henry Holt, 1953> p. 117-257

Arbuthnot, May Hill. The child and his books.
 <Arbuthnot, M.H. *Children and books*. Chicago,
 Scott, Foresman and Co., 1964> p. 2-15.

Chukovskii, Kornei. ニオから五才まで. 南 信四郎
 訳. 東京, 三一書房, 1957. 252 p.

Corney, Stepher M. and others. The Develop-
 mental tasks of children and young people.
 <Henne, Frances, Brooks, Alice & Ersted,
 Ruth, ed. *Youth, Communication and Libraries ;
 Papers presented before the Library Institute at
 the University of Chicago, August 11-16, 1947*.
 Chicago, A. L. A., 1949.> p. 3-13.

波多野完治, 滝沢武久. 子どものものの考え方. 東京,
 岩波, 1963. 207 p. (岩波新書 490)

児童・生徒の発達段階に応じた資料. <文部省. 小・
 中学校における学校図書館利用の手びき. 1961>
 p. 160-181.

Mussen, Raul H. *The psychological development
 of the child*. Englewood Cliffs, N. J., Prentice
 Hall, 1963. 児童心理学 今田恵訳. 東京, 岩波,
 1963. 138 p. (現代心理学入門 I)

Piaget, Jean. *The language and thought of the
 child*: Translated by Marjorie Gabain. New York,
 Meridian Book, 1955. 250 p.

Vygotsky, L. S. *Thought and language*; edited
 and translated by Eugenia Haufman and Ger-
 trude Vaker. Cambridge, Mass., The MIT
 Press, 1962. 168 p.

渡辺茂男. 児童の発達段階と文学作品. <井沢純編.
 読書による道徳指導. 東京, 明治図書, 1965.>
 p. 23-42.

———"児童図書の領域区分と分類," *Library Sci-
 ence*, no. 2, 1964. p. 77-91.

依田 新, 沢田慶輔編. 児童心理学. 東京, 明治図書,
 1961. 238 p.

III. 絵 本

1. 絵本のはたらき

認識の喜び

幼児が日常見馴れたものを絵本その他印刷物の絵
 に発見する喜び

明快な絵

美的な絵

実例: 「のりもの」「どうぶつ」

ことばの力 (語感と意味)

ころよいひびき

リズム

くりかえし

幼児語と敬語のあやまり

短かい物語

実例: 「かぼくん」「きつねとねずみ」「いないい
 ないばあ」

美的感覚

センス

形

色

くつろぎ

実例: 「うさこちゃん」「おやすみなさいの本」

「まりーちゃんとひつじ」

空想と現実

幼児の生活における空想と現実

写実とリアリティーの相違

実例: 「マーシャとくま」「アンディとライオン」
 「もりのなか」「ぐりとぐら」

遊 び

遊びの自由さと力

実例: 「どろんこハリー」「おやすみなさいフラン
 シス」「おさるのじょうじ」

科学性

科学的という意味

正確さ

理解の限界

いわゆる観察絵本の問題点

実例: 「Little Auto」「いたずらきかんしゃちゅ
 うちゅう」「しょうぼうじどうしゃじぶた」

物語性

物語性による生命力と擬人化の問題点

物語の構成と論理性

起承転結

昔話の力

実例: 「おおきなかぶ」「かにむかし」「きかんし
 ややえもん」

情 緒

嬉しさ (感覚), 喜び (表現) 楽しさ (情緒)

ほほえみ, 笑い (行為)

ナンセンス

悲しみ

神秘性

愛情

実例: 「ねむりひめ」「しろいうさぎ・くろいうさ
 ぎ」「しずかなおはなし」「11びきのねこ」

2. すぐれた絵本の条件

絵本は、子どもが最初にてあう本である。長い読書生活を通じて読む本のうちで、いちばんたいせつな本である。その子が絵本の中でみつけた楽しみの量によって生涯、本好きになるか、どうかきま

- (1) 主人公、登場人物が動物であれ、人間であれ、読者に生命を感じさせるもの。
- (2) ことば、絵の両面において、創造性、空想性の豊かなもの。
- (3) 美感、色彩感、リズム感の豊かなもの。
- (4) 理念、ことば、線の明快なもの。
- (5) 驚異の念の豊かなもの。
- (6) ナンセンス
- (7) ユーモア
- (8) 精神面、感情面において子どもの要求をみたし、子ども時代を尊重しているもの。
- (9) 造本、デザイン感覚のすぐれているもの。
- (10) 一つの意図が一冊にゆきわたったもの。
- (11) 物語と絵の一致しているもの。
- (12) 表現能力と理解能力 (Conceptional level) の差をわきまえ、後者を重視したもの→教育的効果。

3. 代表的絵本作家：外国および日本比較研究の意義

代表作により画家の作風、画風の特徴把握
国別の絵画的伝統の相違
絵本に現われた文化的風土の相違
絵本に現われた児童観の相違
絵本に対する見解の相違
古典的絵本と現代的絵本の比較
絵本の歴史的推移

アメリカ

Pyle, Howard, 1853-1911.

Merry Adventures of Robin Hood (1883)

Otto of Silver Hand (1888)

Men of Iron (1890)

中世的主题

挿絵の始祖の一人

時代的感觉

個性の劇的表現

絵による物語

Jerrie Wilcox Smith (1863-1935), Newell

Wyeth (1882-1945) などに対する影響。

Wiese, Kurt, 1887-

The Story About Ping (1933) text by Marjorie Flack

Honk the Moose (1935) text by Phil Stong

Five Chinese Brothers (1938) text by C. H. Bishop

ユーモア

明快なイメージ

物語のふんい気の確な表現

中国での経験

Gag, Wanda, 1893-1946.

Millions of Cats (1928)

Funny Thing (1929)

Snippy and Snappy (1931)

Nothing at All (1941)

完璧な絵本物語——リズムと流れの典型

黒白リトグラフ

ヨーロッパの民話の風土

グリム素材と彼女自身による民話的創作物語の絵本

Daugherty, James, 1889-

Andy and the Lion (1938)

Daniel Boone (1939) (Newbery 賞)

溢れる力量

躍動する生命感

黒一色のかもしだす色彩

壁画的量感

Rojankovsky, Feodor, 1891-

The Old Man is Always Right (1940) text by H. C. Andersen

Frog Went a-Courtin' (1955) text by John Lang-Staff (Caldecott 賞)

土の香り

きめこまかい描写と豊かな色彩感

ロシア生まれの休具

Père Castor の下での多くの仕事

Lawson, Robert, 1891-1957.

Story of Ferdinand (1936)

Pilgrim's Progress (1936)

Adam of the Road (1942)

Mr. Revere and I (1953)

Rabbit Hill (1944. Newbery 賞)

Tough Winter (1954)

児童図書研究シラバス, I

- 作家兼挿絵画家
 情感の豊かさ
 情景描写の細部——背景及び服装
 性格描写の迫力
 ペン画スケッチ
- Bemelmans, Ludwig, 1898–1962.
Hansi (1934)
Madeline (1939) and others.
 フランス的ウィット・
 パリ, ロンドンなどのヨーロッパ風景
 個性的な主人公
 背景の静に対して, 登場人物の動
- Duvoison, Roger, 1904–
White Snow, Bright Snow (1947. Caldecott 賞)
The Happy Lion. (1954) text by Louise Fatio
Amahl and the Night Visitors (1952)
 題材にマッチした多彩な画法
 構図デザインの力
- Geisel, Theodor Seuss (Dr. Seuss), 1904–
The 500 Hats of Bartholomew Cubbins (1938)
Horton Hatches the Egg (1940)
 ナンセンス
 マンガ的手法
 奇抜な着想
 グロテスクな魅力
- Politi, Leo, 1905–
Little Leo (1951)
Juanita (1948)
 単純素朴な絵
 デザイン化された素朴さ
 ラテン的風土性
- Burton, Virginia Lee, 1909–
Mike Mulligan and His Steam Shovel (1939)
The Little House (1942. Caldecott 賞)
Life Story (1962)
 文・絵共に同一作家による完璧な調和
 明るい色彩
 躍動感
 全体の流れ
 作品のもつ社会性
 綿密な調査と考証に基づく作品
- Williams, Garth, 1912–
Stuart Little (1942) text by E. B. White
- Charlotte's Web* (1952) text by E. B. White
Little House (1953) text by L. I. Wilder
Golden Name Day (1955)
Little Silver House (1959)
White Rabbit Black Rabbit (1958)
The Rescuers (1959) text by M. Sherp
 伝統を重んずる細密画
 ソフトなムード
 空想世界のリアリティー
 性格描写の秀逸さは比類がない。
 20世紀の Ernest Shephard と称せられる。
- McCloskey, Robert, 1914–
Lentil (1940)
Make Way for Ducklings (1941. Caldecott 賞)
Blueberries for Sal (1948)
Time of Wonder (1957. Caldecott 賞)
Burt Dow, the Deep Water Man (1963)
 最も評価の高い画家
 二度の Caldecott 賞受賞
 力量感溢れる雄壮な描画
 アメリカの風土性
 自然の詩情と歴史的感覚
- Coony, Barbara, 1917–
Chanticleer and the Fox (1958) adaptation
 of Chaucer's *Canterbury Tales*.
Little Juggler (1961)
 絵画的教養
 歴史的感覚
 風土性の把握
 赤, 緑, 青などの鮮明な色彩
- Brown, Marcia, 1918–
Stone Soup (1947)
Puss in Boots (1952)
The Steadfast Tin Soldier (1953)
Cinderella (1954. Caldecott 賞)
Dick Wittington and His Cat (1950)
Once a Mouse (1961. Caldecott 賞)
 二度の受賞
 民話的素材
 一作ごとの意欲的な試み——多彩な手法
- Sendak, Maurice 1928–
A Hole Is to Dig (1952)
Wheel on the School (1954) text by Meindert

- De Jong.
Moon Jumper (1959) text by Janice Udry.
Nutshell Library (1962)
Where the Wild Things Are (1963. Caldecott
賞)
繊細な情感
リズムと詩情
おさえたユーモア
子どもの感ずる神秘的な世界
- イギリス**
Evans, Edmund, 1826-1905.
すぐれた版画, 印刷家
Crane, Walter, 1845-1915.
The fairy ship (1869)
The baby's opera (1876)
The baby's bouquet (1878)
The baby's own Aesop (1886)
Flroa's feast (1888)
装飾的な画法
日本画, イタリア画の影響
豊かな色彩感
服装, 建物内部等の細部
Greenaway, Kate, 1846-1901.
Under the window (1878)
A day in a child life (1881)
Mother Goose melodies (1881)
Marigold Garden (1885)
子どもの共感
すぐれた絵
背景と服装の歴史的価値
精神的喜び
精妙さ
Caldecott, Randolph, 1846-1886.
Caldecott's collection of pictures and songs.
2v. (1896)
イギリスの情景
物語性
戸外の味わい
ユーモアと動き
W. Crane の静に対する動
Potter, Beatrix, 1866-1943.
The Tale of Peter Rabbit (1901)
The Tailor of Gloucester (1902)
- The Tale of Squirrel Nutkin* (1903)
The Tale of Benjamin Bunny (1904)
The Tale of Two Bad Mice (1904)
⋮
Wag-by-Wall (1944) 等 全30冊
動物絵本の傑作
小動物の世界
新鮮な水彩画
物語性
ユーモア
素材にふさわしい形
- Rackham, Arthur, 1867-1939.
Midsummer Night's Dream
Legend of Sleepy Hollow
幻想的魅力
美しい線
Brook, Leslie, 1862-
Johnny Crow's Garden (1935)
Golden Goose Book (1906)
Three Bears (1906)
幼児向きの明快な絵
ユーモア
表情豊かな擬人化
ソフトな水彩画
- Ardizzone, Edward, 1900-
Little Tim and the Brave Sea Captain (1936)
Tim All Alone (1957)
Don Quixote (1959)
情感豊かな水彩画
イギリス的風土性
海と潮の香り
物語性
- Hale, Katherine, 1898-
Orlando
主人公の個性
大型絵本
- Wood, Leslie, 1920-
Little Red Engine series text by Diana Ross
のりものの絵本の性格
- Stobbs, William, 1914-
Kashtanaka (1958) text by Anton Chekhov
グラフィックアートと色彩感とのバランス
- Howard, Alan, 1922-
Limping Ginger of London Town (1962)

児童図書研究 シラバス, I

モダンなグラフィックアート

Rose, Gerald.

Old Winkle and the Seagulls (1960)

How St. Francis tamed the wolf

細部と色彩感

表情豊かな絵

ユーモア

Brian, Wildsmith.

A B C (1962)

Mother Goose (1964)

Brian Wildsmith's 123 (1965)

The Lion and the Rat (1963)

The North Wind and the Sun (1964)

The Rich Man and the Shoemaker (1965)

強烈な色彩感

色と構図

高踏性と童心の融合

ドイツ

Hofer, Karl.

Rumpumped (1903) text by Paula Dehmel

Seidmann-Freud, Tom, 1892-1930.

Das Wunderhaus

Das Zauberboot

教育的性格

Meissen, Conny, 1887-

Das Mannchen

Das Mannchen kommt zum Zauberer (1927)

In die weite Welt (Potsdam, 1929)

日本と黒人の人形物語

Thomas schreibt aus Mexiko (Berlin, 1936)

Ehmcke, Susanne, 1906-

Bill und Ballchen (Baden-Baden, 1934)

Vogelbart (Ravensburg, 1943)

豊かな明るさ

奇妙な楽しさ

個性

詩情

最も才能に恵まれ、作品の多い画家の一人である。

Wenz-Vietor, Else, 1924-

題材のパラエティール

Arthur Rackham (イギリス) の影響

Eisgruber, Elsa.

Tulifantchen

Romantische Marchen (Leipzig, 1945)

ドイツのおとぎばなし絵本

Sause, Kreisel, sause

Rosmarin und Thymian (Baden-Baden, 1930)

歌とあそび

古典の再現

Bäumer, Eduard and Valerie.

Die Geschichte vom Fluss (Berlin, 1937)

Den Berg hinauf (Berlin, 1938)

〔現代の特徴〕

戯画風の傾向

感傷主義からの脱却

新感覚のデザイン画

意図的なナイーブさ

モダン・プリミティブの影響

Reidel, Marlene.

幼児対象

リアリズムからの脱却

Zimnik, Reiner, 1930-

線の描くイメージ

ユーモア

絵と文章の融和

Oberländer, Gerhard.

Robinson Crusoe

Grimm's fairy tales

動きと線

小動物

Stefula, Georgy.

Das Paradies (1955)

モダン・プリミティブの影響

日曜画家

Roser, Wiltrud.

Die Pimpelmaus

Das Hündchen Benjamin

児童画風なナイーブな絵

Klemke, Werner.

ペン、インク、チョーク画

力強さ

Wendlandt, Kurth.

Anna Dobrinskaja's *Ano lebt in der Tundra*

フランス

Monvel, M. Boutet de, 1850-1913.

Anatole France's *Nos enfants Filles et garçons*

ドラマ

デリケートな色彩

Ségur, Adrienne.

Le livre des bêtes enchantées (Flammarion)

フランスの家庭に代々伝えられる古典的絵物語。

おとぎばなしの世界を幻想的な神秘性にみちた

美しい挿絵でまとめた重厚な本。

Castor, Père.

The Albums du Père Caster. (1932)

Plouf, canard sauvage (1935)

Froux, le lièvre (1935)

Bourru, l'ours brun, Scaf. le phoque (1936)

Quipic, le hérisson (1937)

Apoutsia, le petit flocon de neige (1948)

絵本を通じての児童教育

25年間に250冊の *Albums du Père Castor*

廉価本

ポール・アザールの “*Les livres, les enfants, et les hommes*” の出版

彼の思想

“la poésie du réel”

“l'activité créatrice”

“la nécessité du contact avec la terre,
avec l'univers, avec le merveilleux”

Rojankovsky Fedor の初期の挿絵

その後継者 Nathalie Perain

Brunhoff, Jean de, 1899-1937.

L'histoire de Babar (1931)

Le voyage de Babar (1932)

Le roi Babar (1933)

Les vacances de Zéphir (1934)

Babar en famille (1938)

Babar et le Père Noël (1941)

Babar を通じての文明批判と無心の態度

人間性, 人道主義

絵の芸術性——日本の版画の影響

ことばの直截さ

自分の子どもへの物語から生まれたもの (37才
で死んだ父のあとを長子 Laurant がついで
Babar シリーズを書く。)

作者はスイスに住み, 絵の舞台はアフリカ, 内

容はフランス。

登場人物の性格 -Barbar, Zéphir, Arthur.

Brunhoff, Laurant de, 1925-

Babar et ce coquin d'Arthur (1946)

Pique-Nique chez Babar (1949)

以降の作品

父親の作品との比較

ス イ ス

Kreidolf, Ernst, 1863-

Die Blumenmarchen (1898)

Die Wiesenzwerg (1902)

Die Alpenblumenmarchen

Das Hundefest

Ein Wintermarchen

リトグラフィーの芸術, 工芸

自然の神秘をナイーブな妖精で描き出した古典
背景の描写

Tappolet, Berta.

Kinder im Garten (Zurich, 1941)

現代のスイス絵本の始祖と考えられる。

民話, 伝説の絵本が多い。

Hoffman, Felix.

Grimm's *Der wolf und die sieben Geisslein*
(1957)

スイス 児童図書賞受賞作

高雅な風格

自然の神秘

「ねむりひめ」その他民話の絵本化

スイスを代表する画家の一人で, 世界的に高名

Roth-Streiff, Lili.

Wolkenbutzeli (1943)

Das Rösslein Kilian (1947)

Der Dumme August und die Tiere (1953)

民話的風土から離れた画風

Carigiet, Alois.

Schellen-Ursli (Zürich, 1946)

Flurina und des Wildvoglein (1952)

Der grosse Schuee (1955)

Selina Chönz による簡潔な美しい文章

物語と絵の緊密な調和

主人公 Schellen-Ursli の忘れがたい個性

アルプスの詩情とペーソス

大胆な線画

Fisher, Hans, 1909-1958.

Grimm's Die Bremer Stadtmusikanten (Zürich, 1944)

Das Lumpengesindel (1945)

Der gestiefelte Kater (1957) (Adaptation of Pussin Boots)

Der Geburtstag (1947)

Pitschi (1948)

エッチング, リトグラフ, 挿絵, ポスターなど
多彩な才能

自由奔放な線の動き

表情豊かな動物たち

的確な情景描写

Carigiet と並んで双壁をなす画家

チェコスロバキア

Lada, Josef, 1887-1957.

O Chytré kmoťe lišce (キツネものがたり) (1937)

チェコの古典

明確な太い線

素朴な力強さ

ユーモア

Trnka, Jiři, 1912-

Der Kater Mikesche (Purrkin the talking cat) (1935) (Awarded 1963 Deutsch Kinderbuchpreis)

Říkejte si se Mnou. (Say it with me) text by Frank Hrubin (Prague, 1946)

明快な線

平坦, 陽気な色彩

スラブ系の民俗色

伝統的な人形劇との関連

Janeček, Ota.

綿密さ

精妙さ

Zábransky, Adolf

Sladek detem

詩に絵をつけたもの

太い動きのある線

スイスの Hans Fischer と比較される。

ポーランド

Lewitt (1907-) and Him

Lokomotywa (1938) text by Julian Tuwim

1940 年以降, イギリスにて製作

The little Red Engine gets a name

Blue Peter

Lewitt → Jan le witt, a Him → George Him

と改名, イギリス国籍をとる。

のりもの

空想性豊かな絵

抽象的画法

Scancer, Marcin.

Papageinbuch (ドイツで 1953 年に出版)

Doremi (Warsaw, 1955)

幼児への音楽手引き

[ポーランドの傾向]

力強い明るさ

新感覚の表現

高い水準

スウェーデン

Beskow, Elsa, 1874-

Putte i blåbärsskogen (1901)

(About the little boy in the bilbery wood)

Pelle's New Suit (1929)

Larsson, Carl, 1853-1919

Ett Hem (at home) (1904)

[新しい絵本]

明るさ

明快さ

清潔さ

たのしさ

Mall, Victor.

Figge (Uppsala, 1945)

Johansen, Gitz-

Gaba, den lille Groenlander (Copenhagen, 1947)

Ungermann, Arne.

Palle allene i verden text by Jene Sigsgarrd (Copenhagen, 1947)

Nyman, Ingrid van.

Jugga Jugga och Vagge Vugge text by G. Ackerhielm.

Rapp, Rita.

The little women who forgot everything text by Janet Beattie (Stockholm, 1958)

Lindgren, Astrid の文による絵本

Tomten (1960) illus. by Harald Wibery
Parrak, the white reindeer (Stockholm, 1958)
illus. by Inga Borg

フィンランド

Jansson, Tove.

Hur gick det sen? (Gebers)

「さてそれから」——ムーミントロールとミンプルとチビの三人の話。フィンランド生まれの天才的作家トーベ・ヤンソンの絵本。物語、絵、ページごとのからくりには秀逸な独創性をみせる絵本。

日 本

武井武雄

童画ジャンルの呼称の創始者
北欧的趣味
幾何図式構図
童心のモダニズム
デフォルメによる工芸的図案

初山 滋

童心の哀歓美
繊細巧緻な空想美
抽象的画法
日本画・浮世絵の伝統に西洋的感觉を加味
色彩感

川上四郎

田園的素朴さ
初期の都会的モダニズムより後期の牧歌調への変化

岡本帰一

重厚な色感
健康な力強さ
リアルな画風

茂田井武

求道的な芸術態度
素朴でユーモラスな表現
太い線と明確な絵
「セロひきのゴージュ」にみられる迫力

戦後の代表的画家

瀬川康男

「ふしぎなたいこ」
「やまんばのにしき」
流動する線

ユーモアとおさえた笑い

民話の風土性

堀内誠一

「たろうのともだち」
「くろうまブランキー」
「おやゆびちゃん」
多彩な手法
すぐれた感情移入
鋭敏な感覚
イラストレーター

長 新太

「びかくんめをまわす」
「がんばれさるのさらんくん」
マンガ的ユーモア
風刺性

中谷千代子

「かぼくん」
「じおじおんかんむり」
「スガンさんのやぎ」
「くいしんぼうのはなこさん」
素材に的確な画法
ユーモアと明るさ
明確な絵

赤羽末吉

「かさじぞう」
「ももたろう」
「だいくとおにろく」
「へそもち」
「スーホの白い馬」
素朴な重厚さ
日本画的手法
劇的構図
よどみない力強さ

そ の 他

寺島竜一、朝倉 摂、田島征三、滝平二郎、
馬場のぼる、山本忠敬

参考文献

- Arbuthnot, May Hill. The Artist and the child's books. <Arbuthnot, M.H. *Children and books*. 3d. ed. Chicago, Scott-Foresman, 1964> p. 52-73.
船木枳郎. 日本童話童画史. 東京, 文教堂, 1967. 436 p.
浜中重信. 幼児と本——読書指導の実際——. 東京, さ・え・ら書房, 1962. 254 p.
Hurliman, Bettina. *Die Welt in Bilderbuch: Mod-*

- erne Kinderbilderbücher aus 24 Landern. [The World in the picture book: Modern picture books for children from 24 countries.] Künstlerbiographischen Angaben von Elisabeth Waldmann. Zurich, Atlantis Verlag, 1965. 215 p.
- Hürlimann, Bettina. Picture-books in the twentieth century. <Hürlimann, B. *Three centuries of children's books in Europe*. London, Oxford Univ. Press, 1967.> p. 201-235.
- James, Philip B. *English book illustration, 1800-1900*. London, 1947. 72, 16 p. (Penguin books)
- Miller, Bertha (Mahony), and Whitney, Elinor, comp. *Contemporary illustrations of children's books*. Boston, Bookshop for Boys and Girls, Women's Educational and Industrial Union, 1930. 135 p.
- Miller, Berth (Mahony), Latimer, Louise P., and Folmsbee, Beulah, comp. *Illustrators of children's books, 1774-1945*. Boston, Horn Book, 1947. 527 p.
- , *Supplement, 1946-1958*. Compiled by Ruth H. Viguers, Marcia Dalphin, and Berth M. Miller. Boston, Horn Book, 1958. 209 p.
- Pitz, Henry C. *Illustrating children's books: history, technique. production*. New York, Watson-Guptill Publication, 1963. 207 p.
- 瀬田貞二, 中川正文, 松居 直, 渡辺茂男編, 絵本と子ども. 東京, 福音館, 1966. 249 p.
- Smith, Lillian H. 絵本. <Smith, L. H. 児童文学論. 石井桃子等訳. 東京, 岩波, 1964.> p. 202-233.
- 鳥越 信, 森久保仙太郎共著. 3才から6才までの絵本と童話. 東京, 誠文堂新光社, 1967. 363 p.

IV. 伝承文学と児童文学

1. 定義

近代文学に対する伝承文学。

作者不明にて, 口承にて伝えられたもの。

卑俗な話から, 高度な文学的質を備えたものまで含まれる。

2. ジャンル

民話………Folklore

神話………Myth

叙事詩………Epic・Saga

伝説………Legend

寓話・説話……Fable・Parable・Proverb

3. 児童文学との関連性

素朴な空想力から生まれたもの

アニミズム的発想

単純な物語構成

普遍的な真実感

明快な語り口

文学の土台

V. 民話

1. 民話の起源

昔話, Conte Populaire, Folktale, Volksmärchen

(1) アリアン起源説 Arische Theorie

(2) インド起源説 Indische Theorie, Monogenesis

(3) 人類学説 Anthropologische Theorie, Polygenesis.

(4) 不可知論

(5) 地理・歴史的方法

(6) 継承説

(7) 社会学的方法, 庶民の欲求, 風刺等の社会表現

(8) 心理学的分析

空想の象徴

語り手の夢

欲望充足の手段

2. 民話の典拠: 代表的収集家の業績

Perrault, Charles, 1628-1703.

Contes de ma Mère l'Oye (1697)

《仙女物語 (昔話, ガチャウおばさんの話)》

Grimm, Jacob Ludwig Karl, 1785-1863.

Grimm, Wilhelm Karl, 1786-1859.

Kinder-und-Hausmärchen (1812-1814)

Asbjornsen, Peter Christian, 1812-1885.

Moe, Jorgen E, 1803-1882.

East o'the Sun and West o'the Moon.

translated by Sir George Webbe Dasent.

Popular Tales from the Norse (1859)

Jacobs, Jaseph, 1854-1916.

English Fairy Tales (1892)

Celtic Fairy Tales (1893)

More English Fairy Tales (1894)

More Celtic Fairy Tals (1895)

Lang, Andrew, 1848-1912.

Blue Fairy Book (1889)

Red Fairy Book (1890)

Green Fairy Book (1892)

- Yellow Fairy Book* (1894)
Pink Fairy Book (1897)
Grey Fairy Book (1900)
Brown Fairy Book (1904)
Olive Fairy Book (1907)
Lilac Fairy Book (1910)
Harris, Joel Chandler, 1848-1908.
Uncle Remus, His Songs and His Sayings (1884)
Arabian Nights.
Alf Laylah wa Laylah (850?)
(アルフ・ライラー・ワ・ライラー)
(The Book of the Thousand Nights and a Night)
Galland, Antoine, *Les mille et une nuit*. (1704)
「日本霊異記」 3 巻 (822)
仏教説話集
序に中国の冥報記や般若験記にならい、わが国の奇事を集めたとある。
116 の説話、大部分奈良時代のもの。
わが国説話集の嚆矢
今昔物語に影響を与えた。
「今昔物語」, 3 部 31 巻 (1077?)
源隆国編の説話集といわれる。
天竺(印度), 震旦(中国), 本朝の三部から成る。
仏教説話, 民間説話の集大成
文章は簡潔, 和漢混合文で, 仏語をまじえている。
国語史, 風俗史上の貴重な文献
柳田国男
「定本柳田国男集」, 30 巻 別巻 5 巻 (1863-)
柳田国男編
「全国昔話記録」 10 巻 (1942-44)
関敬吾
「日本昔話集成」 6 巻 (1950-58)
世界童話大系刊行会編
「世界童話大系」 23 巻 (1924-28)
3. 子どものための文学としてみた民話の価値
(1) 内 容
豊富な題材, 喜怒哀楽, 善悪, 冒険, 詩情, 幻想,
人間世界, 動物世界, 美醜, 知恵, 愚行, 残酷さ,
迷信
これらの要素の指導上の留意点
(2) 類 型
民族学的研究においては, G. V. Hahn, A. Chris-

- tensen, S. Thompson, 柳田国男, 関敬吾などによる専門的分類があるが, ここでは, 子どものための物語の類型としてとりあげる。
くりかえしの物語
動物物語
笑話
「三つ」の物語
ほら話
ユーモラスな話
ナンセンス
宗教的物語
冒険物語
魔法物語, 妖精物語
小人物語
巨人物語
(3) 構 成
明確な起承転結
時間の流れに沿う物語の展開
a. はじまりの部分
簡潔に物語に必要な時, 場所, 人物が示される。
登場人物の性格が類型的に示される。
聞き手の共感の方向がきまる。
事件の発端が示される。
b. 展 開 部
登場人物の動機
登場人物が前向きに行動を始める。
障害, 敵の出現
中心人物の苦難と努力
プロットが人間界の普遍的倫理の上に展開する。
成功と失敗のくりかえし
サスペンスの高まり
c. クライマックス
クライマックスは物語の終り近くにおかれている。
障害を解決する手段が急速に展開する。
主人公は勝ち, 敵は滅亡する。
望みが達せられ, ハッピー・エンドとなる。
具体例による分析
「三びきのやぎのがらがらどん」
「かえるの王子」「かにむかし」など。
(4) 文 体
語り口: 口承によるその力強さと簡潔さ

客観的文体

語り手の口調とリズム

方言の味わい

問のとり方

語り出しとしめくくりのことば

効果的会話

(5) 性格描写

明快な類型的描写

4. 指導上の留意点

すぐれた物語を聞くことの喜び

最も適切な紹介方法—ストーリーテリング

道徳的要素の抑制

抽象的観念だけをとりだしてのコメントを避ける。

再話の比較検討と選択

児童の発達段階に即した物語の選択

5. 子どもにすすめられる民話の例

シンデレラ、ねむりひめ、赤ずきん、長ぐつをはいたねこ、ヘンゼルとグレーテル、ブレーメンの町の音楽隊、かえるの王子、ルンベルステルツキン、白雪姫、りょうしとおかみさん、くつやと小人、三びきのやぎのがらがらどん、パンケーキ、太陽の東・月の西、三びきのぶた、ヘニーペニー、なまけもののジャック、ジャックと豆のつる、トム・ティット・トット、おばあさんと子ぶた、山の上の火、トンボソのおひめさま、まほうの馬、カラスだんなのおよめとり、かぎのない箱、白いりゅう黒いりゅう、りこうなおきさき、かにむかし、かさじぞう、山んばのにしき、大工と鬼六、つるにようぼう、力太郎、ふるやのもり。

VI. 寓 話・説 話

1. 定義と特徴

- (1) 善悪・賢愚などの抽象的観念や道徳律を具体的に、印象的に教えるための短かい物語。
- (2) 主人公は徹底した個性のない類型で示される。
- (3) その主人公は一つの道徳的特性のみを与えられている。
- (4) 一つのエピソードの結末が道徳を示す。
- (5) 寓話、たとえ話(聖書の中の)、格言の共通性。

2. 代表的寓話集。

Aesop, 620-520 B.C.?

伝説上の人物

サモア島の奴隷

1〜3 世紀にラテン語に翻訳

中世紀のヨーロッパの教科書

William Caxton の印刷

伊曾保物語 (1593)

Pañcatantra, 200 B.C.?

印度古譚, 五章の物語。

難解な説話が多く, 児童向きのものは少ない。

Jatakas, 200〜300 B.C.?

シャカの前世の物語 547 種を収めた仏教説話集。

バーリ語で書かれている。

紀元前 2, 3 世紀に創られたものといわれる。

イソップに類似の動物寓話で, 児童向きのものがある。

La Fontaine, 1621-1695.

le fablier の呼称

Charles Perrault の同時代人。

Aesop, *Pañcatantra*, *Jatakas* などの翻案。

3. 指導上の留意点。

絵本化されている例が多いが, 幼児向きとは限らない。

寓話を理解するには人生上の経験が必要。

幼児向きに利用できる例: 「ライオンとねずみ」「町のねずみと田舎のねずみ」「うさぎとかめ」「きつねとからす」

小学校高学年の教材となる。

VII. 神 話

1. 神話の起源に関する諸説

- (1) 自然現象のアニミズム的説明
- (2) 人類文化の発生起源との関連—民族発生説, 政治的, 歴史的アプローチ—神代史の構成
- (3) 原始宗教—自然宗教
- (4) 土俗的風俗的習慣の起源

2. 心理的分析

- (1) 超心理的存在態が持つと信ぜられた霊能の観念が意識の全面を占めて, そうした存在態に対する恐怖, 畏敬, 依存の感が強く民衆を支配し, 従って何等かの方法によって該存在態の意志を動かして, おのれたちに有利に発現させようとする心の動き。
- (2) 超自然的存在態の霊能の価値の観念が幾分か民衆の意識面から後退し, 情感の動きよりむしろ

知力の働きが彼等の心的活動の主調をなし、従ってそうした霊格を恐怖し、若しくは畏敬するかわりに、これに対して幾分解放された気持からこれを観察する、いわば科学的な立場をとり、霊格そのもの、もしくはこれと不可分に連繫したものととして自然界、人文界の諸事象の成立、起源をさぐり究めようとする心の動き。

- (3) 霊格の力能の価値の観念や恐怖・畏敬・依存などの情感の重圧からも遠のき、また知力的・科学的な究明からもはなれて、叙述本能の活躍が主調となり、詩的想像のはせるままに、いわば文学的にさまざまな霊格の生活史を民衆自身の生活様態になぞらえつつ想い描く心の動き。(松村武雄, 日本神話の研究第1巻 p. 4-5)

- (1) 一神の恩恵を中核とする神話。
(2) 一自然界の現象, 人文界の事象の由来を叙述する神話。
(3) 一神の生誕, 結婚, 冒険, 闘争などの神話。

3. 神話の典拠

- (1) 日本神話

「古事記」(712) 2 巻

稗田阿礼の誦習した帝紀および本辭を太安万侶が元明天皇の勅を奉じて撰録。

上巻一神話(高天原神話, 出雲神話, 日向神話)
中巻・下巻一神武天皇から推古天皇に至る歴史伝説。

全体としてみれば叙事文学。

「日本書紀」(720) 30 巻

太安万侶の編纂

1, 2 巻一神話。

3~30 巻一神武天皇から持統天皇までの歴史伝説。

史書として整っている。

- (2) ギリシャ神話

Hesiodos 古代ギリシャの詩人

Erga Kai Hēmerai 「仕事と日々」

神々の正義の主張。

Theogonia 「神統記」

一千余行の短い叙事詩

「Chaos 渾沌」「大地」「Tartara 深淵」「愛」の形而上学的概念から始まり、山、海、天と具象を経て人間的な神々を語り、最後に人間と神々との交りに至る。

Apollodoros 前2世紀のアテナイの文法家
Bibliothēke

ギリシャ神話の集大成

高津春繁訳「ギリシャ神話」(岩波文庫)

Pindaros, B.C. 522-442

Sophocles, B.C. 496-406

Euripides, B.C. 485-406

ギリシャの三大悲劇詩人の詩作中の断片的な神話。

Ovidius, B.C. 43-A.D. 17 ローマの詩人

Metamorphoses 「変身譜」

田中秀央, 前田敏作「転身物語」(人文書院)

宇宙のはじまりより神々の星、木、動物への変身を語る。

ギリシャ(ローマ)神話の全領域。

- (3) 北欧神話

Saemund's Edda

Old Edda と称される。

1643 年スカルホルトの僧上ブリュヌヨルフにより発見された写本。(Codex Regius)

神話詩 11 編, 英雄詩 19 編よりなる。

詩のエッダと称される。

8 世紀から 12 世紀にかけて成立した詩形と推測される。

Snorri, Sturluson, 1178-1241

New Edda または散文のエッダと称される。

「詩学」の入門書として伝承の古詩を用いた。

第1部—「ギリフィのまどわし」北欧神話の概要

第2部—「詩人の用語」詩学入門

第3部—「ハッタール」スノリ自身によるノルウェー王への献詩。

4. 神話の類型と特徴

- (1) 由来物語

比較的幼ない児童向き

例話: トウモロコシ競争(インディアン神話), ヒヤシンサス(ギリシャ), バルドルの死(北欧), ナルキッソス(ギリシャ)

- (2) 比喩物語

教訓的要素

例話: ニオベとレト(ギリシャ), キューピットとプシケ(ギリシャ), パンドラ(ギリシャ), いなばのしろうさぎ(日本)

- (3) 神々と人間

神の恩恵

人間の欲望へのいましめ

例話: ミダス王(ギリシャ), パッカスとフィレモン(ギリシャ), イアソンと金色のヒツジの毛皮(ギリシャ)

(4) 神対神

英雄的行動

神の力

人間の争いの比喻

例話: 日本武尊, 海幸彦山幸彦(日本), ペルセウス(ギリシャ), ヘラクレスのナニのぼうけん(ギリシャ)

(5) 日本神話の特徴

天皇家の系図

漢語的発想と日本古来の思想との融合

英雄叙事詩が中心

(6) ギリシャ神話の特徴

雄大な自然の美

ヘレニズムの美術的円熟

神々の崇高さと絶大な力

英雄賛美

詩的文体

(7) 北欧神話の特徴

自然の酷しさと畏怖感

素朴な暮らしの細部描写

ユーモアとペース

凝縮された物語の構成

簡潔, 劇的な語り口

叙述, 描写の抑制と直接的会話法

Kenning の手法

悲劇的要素

5. 再話の比較研究

(1) ギリシャ神話における Kingsley, Charles: *The Heroes* (1856), Hawthorne, Nathaniel: *A Wonder Book and Tanglewood Tales for Boys and Girls* (1851-1853), Colum, Padraic: *Golden Fleece and the Heroes Who Lived Before Achilles* (1921) などの比較

(2) 北欧神話における Colum, P. *Children of Odin* (1920), Hosford, Dorothy G. (1900-52), *Thunder of the Gods* (1945), Keord, A. & Keary E., *Heroes of Asgard* (1858) などの比較

(3) 日本神話における 鈴木三重吉: 「古事記物語」,

坪田譲治: 「日本神話」, 福永武彦: 「古事記物語」などの比較

(4) 再話の問題点

再話者の態度

原典の理解度

物語の選択

文体

読者対象

VIII. 叙事詩・サガ

1. 定義

叙事詩

Epic

Greek epos “A saying or a song”

悲劇, 喜劇, 叙情詩, 悲歌, 小物語詩, 牧歌などの諸文体が融合して不滅の英雄を賛える物語の典型をいう。

(Helen Guerber. *The Book of the Epic.*)

Saga (複 Sögur)

「サガはドイツでいうザーゲ (Sage) などと同じ語源から出ていることばだが, ドイツのそれは国碑, 民謡など素朴な民間の話に用いられるのに対し, アイスランドのサガは「物語」「語りもの」ほどの意ですこぶる芸術性の高い, 高度の散文文学である」。(山室静. 「アイスランド」)

2. 典拠及び参考文献の例

Homeros 前9世紀の詩人に冠せられた名。

Iliad 「イーリアス」

Odyssey 「オデュッセイア」

Beowulf 作者不明の古代英語でつづられた三千二百余行にわたる物語詩。デーン人の王 Sayld とかれの子孫の物語で, 英雄 Beowulf の怪物退治からかれの死が中心として語られる。

Roland. シャルマーニュ皇帝にまつわる伝説のうち, 最も有名なもので, シャルマーニュに属するフランス軍をひきいていた司令官ローランとサラセン軍の戦いの物語。物語は8世紀を舞台としているが, 書きとめられたのは12世紀ごろ。

Malory, Sir Thomas. *Le Monte d'Arthur*.

5, 6世紀頃, イギリスに君臨したと伝えられるブリトン人の半伝説的王。武勇にすぐれたサクソン人を破り, その威勢はノルウェー, ガリア (今日のフランス) にまで及ぶ。円卓騎士の物語も同王

の伝説と結びつけられ、一群のアーサー王物語と
なった。

Tennyson, *Idylls of the King*.

Robin, Hood. *A Gest of Robin Hood*. (1500?)
456 stanza の epic ballad.

Saga. *Islenzkar Þjóðsögur og Ævintýri* (アイス
ランド民間伝説と昔話) 5 巻。1925-39 Reykjavik
Univ. Jón Arason が 1862-64 年に出した 2 冊
本を増補した決定版。

The Saga Library. 6 vols. 1891-1905 London.
William Morris がアイスランド文学の権威
Magnusson と共同で出したサガの集成。「ヘイム
スクリングラ」「ハヴアルドのサガ」など 6 篇。
Magnusson and Pálsson, tr. *Njal's Saga* 1960.
(Penguin Books)

Kalevala フィンランドの民族的叙事詩。
自然崇拝的汎神教思想がその背景となっている。
7~10 世紀まで作られ、伝えられたものをレンロ
ートが編集, 1835, 1849 年発表。Kalevala とは
「英雄カレワラの国」で、フィンランドをさす。

Das Nibelungenlied ニーベルンゲンの歌。
古代ゲルマンの英雄伝説を集大成したドイツの民
族叙事詩。1200 年ごろの作。作者不明。前半は
英雄ジークフリートの婚礼と暗殺。後半は妻クリ
ームヒルトの復讐とブルグント族の全滅を描く。

3. 叙事詩・Saga の特質と児童文学との関連

- (1) 英雄物語
- (2) 民族の文化、歴史の特性の象徴
- (3) 雄壮な空想力
- (4) 力と神秘感
- (5) 劇的構成
- (6) 伝承文学の最後のジャンルとして小学校高学
年・中学生に与える。
- (7) 日本の子どもたちの反応

4. 代表的再話の比較研究

- (1) ギリシャ
Lamb, Charles. *The Adventures of Ulysses*.
(1808)
Church Alfred J. *The Odyssey of Homer*.
(1951)
「イーリアス」(全三冊) 呉茂一訳 (岩波文庫)
Colum, Padraic. *The Children's Homer*. (1925)

- (2) 北 欧
Colum, Padraic. *Children of Odin* (1920)
「オージンの子ら」尾崎義訳。
Hosford, Dorothy G. *Songs of the Volsungs*
(1949)
- (3) イギリス
Lanier, Sidney. *The Boy's King Arthur* (1942)
Pyle, Howard. *The Merry Adventures of Robin
Hood* (1946)
「ロビンフッドのゆかいな冒険」村山知義訳。
Pyle, Howard. *The Story of King Arthur and
His Knights* (1933)
- (4) フランス
The Song of Roland. tr. by Merriam Sher-
wood (1938)
「ローランの歌」永有弘人訳 (岩波文庫)
- (5) ド イ ツ
シャルク 編。「ニーベルンゲンの宝」相良守峯訳
(岩波少年文庫)
「ニーベルンゲンの歌」2 巻。相良守峯訳 (岩波文
庫)

参 考 文 献

- Arbuthnot, Old magic; Using folk tales with
children. Fables, myths, and epics. <Arbuth-
not, M. H. *Children and books*. Chicago, Scott,
Foresman and Co., 1964> p. 252-324.
土居光知. 古代伝説と文学. 東京, 岩波, 1960. 460 p.
Eastman, Mary H. *Index to fairy tales, myths and
legends*. 2d. ed., rev. and enl. Boston, F. W.
Faxon, 1926. 610 p.
———. *Supplement*. Boston, F.W. Faxon, 1937-
52. 2 v. (566, 370 p.)
Frazer, Sir James George. *The golden bough; a
study in magic and religion*. 3d. ed., New York,
Macmillan, 1951. 12 v.
———. *Aftermath; a supplement to the golden
bough*. New York, Macmillan, 1951. xx, 11,
494 p.
Funk & Wagnalls. *Standard dictionary of folklore,
mythology and legend*, Maria Leach, ed., Jerome
Fried associate ed. New York, Funk & Wagnalls,
1949-50. 2 v.
Garley, Charles Mills. *The classic myths in English
literature and in art based originally on Bulfinch's
"Age of fable" (1855) accompanied by an inter-
pretative and illustrative commentary, by C.M.
Garley*. New ed., rev. and enl. Boston, New

- York, etc., Ginn. and Co., 1911, xli, 697 p.
 石田英一郎. 新版河童駒引考; 比較民族学的研究. 東京, 東大出版会, 1966. 230, 10. 25, 16 p.
 Lang, Andrew. *Custom and myth*. London, Longmans, Green, 1893. 304 p.
 松村武雄. 日本神話の研究. 東京, 培風館, 1954-58. 4 v.
 西郷信綱. 神話と叙事詩. <西郷信綱, 永積安明, 広末保, 日本文学の古典. 東京, 岩波, 1954 (岩波新書 160)> p. 1-15.
 Smith, Lillian H. 昔話. 神々と人間. 叙事詩とサガの英雄たち. <Smith, L. H. 児童文学論. 石井桃子等訳. 東京, 岩波, 1964> p. 58-153.
 高津春繁, 斎藤忍随. ギリシャ・ローマ古典文学案内. 東京, 岩波, 1963. 207, 18 p. <岩波文庫別冊 4>
 山室 静. アイスランドの文学. <山室 静 アイスランド. 東京, 紀伊国屋, 1963> p. 121-217.

代表的コレクションの例

- Aesopus. *The fables of aesop, selected, told a new and their history traced by Joseph Jacobs*. Done into pictures, by Richard Heighway. London, New York, Macmillan, 1894. 222 p.
 Asbjørnsen, Peter C. *Popular tales from the Norse, translated by Sir George Webb Dasent*. New ed., with a memoir, by Arthur Irwin Dasent. Edinburgh, D. Douglas, 1903. 443 p.
 Blair, Walter. *Tall tale America, a legendary history of our humorous heroes*. New York, Coward-McCann, 1944. 262 p.
 Botkin, Benjamin A., *A treasury of American folklore; stories, ballads and traditions of the people*. With a foreword by Carl Sandburg. New York, Crow Publishers, 1944. 932 p.
 Bulfinch, Thomas. *Mythology: The age of fables: or stories of gods and heroes*. Illustrations by Federico Castellon. Garden City, N. Y., Doubleday, 1948. 402 p.
 Chase, Richard, ed. *Grandfather tales; American-English folklores*. Boston, Houghton-Mifflin, 1948. 239 p.
 ———. *The Jack tales*. Told by R. M. Ward and his kindred in the Beech Mountain section of Western North Carolina and by other descendants of Council Harmon (1893-1896) elsewhere in the South Mountains; with three tales from Wise Country, Virginia. Cambridge, Mass., Houghton, Mifflin, 1943. 201 p.
 Courlander, Harold. *The cow-tail switch, and other west African stories* by Harold Courlander and George Herzog; drawings by Madye L. Chastain. New York, H. Holt, 1947. 143 p.
 De La Mare, Walter, ed. *Animal stories*, chosen,

- arranged and in some part rewritten by Walter De La Mare. New York, Scribner, 1940. 420 p.
 Grimm, Jacob L. K. *Fairy tales*, complete ed. With 212 illustrations by Joseph Scharl. New York, Pantheon Books, 1944. 863 p.
 Harris, Joel C. *Nights with Uncle Remus*. Boston, and New York, Houghton Mifflin, 1883. 416 p.
 Hartland, Edwin S., ed. *English fairy and other folk tales*. London, W. Scott, 1890. 282 p.
 Jacobs, Joseph, ed. *English fairy tales*. 3d. ed., rev. New York, Putnam, 1902. 261 p.
 水沢謙一. 越後のシンデレラ——「ぬかふく, こめふく」「うばかわ」——. 新潟, 野島出版, 1964. 702 p.
 ———. おばばの昔ばなし——池田チセ (75 才) の語る百四十話——. 新潟, 野島出版. 1966. 486 p.
 Murray, Alexander, S. *Manual of mythology*; revised by W. H. Klapp. New York, Tudor Publishing Co., 1954. xvi, 427 p.
 Ovidius. 転身物語. 田中秀央, 前田敏作訳. 京都, 人文書院, 1966. 598 p.
 バンチャタントラ; 印度古譚 五章の物語 宗茅生訳. 東京, 平凡社, 1965. 349 p.
 Perrault, Charles. *Popular tales*. Edited from the original editions by Andrew Lang. Oxford, Clarendon Press, 1888. 153 p.
 世界童話大系. 世界童話大系刊行会編. 東京, 1924-28. 23 v.
 Schwab, Gustav. *Gods and heroes; myth and epic of ancient Greece*, translated from the German text and its Greek sources by Olga Marx and Ernst Morwitz. New York, Pantheon, 1946. 764 p.
 関敬吾. 日本昔話集成. 東京, 角川, 1950-58. 6 v.
 神話伝説大系. 世界童話大系刊行会編. 東京, 1927-29.
 柳田国男. 定本柳田国男集. 東京, 筑摩書房, 1962-36 v.
 ———編, 全国昔話記録. 東京, 三省堂, 1942-44. 10 v.
 Yeats, William B. *Irish fairy and folk tales*. London, Walter Scott (n.d.) 297 p.
 ———. *Mythologies*. London, Macmillan, 1959. 369 p.

児童向きの民話・神話集の例

- イソップ. イソップのお話. 河野与一訳. 東京, 岩波 1966. 356 p. <岩波少年文庫 100>
 アンデルセン, H. C. アンデルセン童話選. 大畑末吉訳. 東京, 岩波, 1953. 2 v. <岩波少年文庫 55, 59>
 アスビョルンセン, P. 太陽の東・月の西. 佐藤俊彦訳. 東京, 岩波, 1958. 238 p. <岩波少年文庫 162>
 ボウマン, ビアンコ. かぎのない箱. 瀬田貞二訳. 東京, 岩波, 1963. 176 p. <岩波おはなしの本>

ブルフィンチ. ギリシャ・ローマ神話. 野上弥生子訳. 東京, 岩波, 1954. 2 v. <岩波少年文庫 78. 79>
 賈 芝, 孫剣冰編. 白いりゅう黒いりゅう. 中国のたのしいお話——. 君島久子訳. 東京, 岩波, 1964. 156 p. <岩波おはなしの本>
 コラム, P. オージンの子ら——北欧神話——尾崎義訳. 東京, 岩波, 1955. 288 p. <岩波少年文庫 94>
 クーランドー, レスロー. 山の上の火. 渡辺茂男訳. 東京, 岩波, 1963. 158 p. <岩波おはなしの本>
 ディヴィス, ロバート・ボルコさまちえばなし——スペインのたのしいお話——瀬田貞二訳, 東京, 岩波, 1964. 154 p. <岩波おはなしの本>
 ディクソン, アラビアン・ナイト. 中野好夫訳. 東京, 岩波, 1959. 60. 2 v. <岩波少年文庫 184. 185>
 福永武彦編. 古事記物語. 東京, 岩波, 1957. 295 p. <岩波少年文庫 157>
 ガスター, M. りこうなおきさき. 光吉夏弥訳. 東京, 岩波, 1963. 159 p. <岩波おはなしの本>
 ギラム, チャールズ. カラスだんなのおよめとり. 石井桃子訳. 東京, 岩波, 1963. 174 p. <岩波おはなしの本>
 グリーン編. アーサー王物語. 厨川文夫訳. 東京, 岩波, 1957. 309 p. <岩波少年文庫 154>
 グリム, ヤーコブ, ウィルヘルム. グリム童話選. 相良守峯訳. 東京, 岩波, 1966. 2 v.
 ハビランド, バージニア. 福音館の世界むかしばなし, 間崎ルリ子, 上条由美子訳. 東京, 福音館, 1966-67. 5 v.
 ハリス, J. C. ウサギどんキツネどん——リーマスじいやのした話——八波直則訳. 東京, 岩波, 1953. 277 p. <岩波少年文庫 49>
 ハッチ, メリー C. ものいうなべ——デンマークのたのしいお話——渡辺茂男訳. 東京, 岩波, 1964. 158 p. <岩波おはなしの本>
 ホーソン, N. ワンダ・ブック——子どものためのギリシャ神話——三宅幾三郎訳. 東京, 岩波, 1953. 317 p. <岩波少年文庫 68>
 ホンヤンスキー, バーバー. トンボソのおひめさま. 石井桃子訳. 東京, 岩波, 1963. 168 p. <岩波おはなしの本>
 伊藤貴麿編. 錦の中の仙女. 東京, 岩波, 1956. 259 p. <岩波少年文庫 129>
 ジェイコブス, ジョウゼフ. ジャックと豆のつる——イギリス民話選——. 木下順二訳. 東京, 岩波, 1967. 404 p.
 ジャータカ. ジャータカ物語——インド民話選——辻直四郎, 渡辺照宏訳. 東京, 岩波, 1956. 232 p. <岩波少年文庫 113>
 ケルジー, アリス G. 天からふってきたお金——トルコのホジャのたのしいお話——岡村和子訳. 東京, 岩波, 1964. 156 p. <岩波おはなしの本>
 金素雲編. ネギをうえた人——朝鮮民話選——東京,

岩波, 1953. 249 p. <岩波少年文庫 71>
 木下順二. わらしべ長者——日本の民話 22 編——東京, 岩波, 1962. 340 p.
 日本のむかし話. 松本みよ子著, 瀬川康男絵. 東京, 講談社, 1967-68. 3 v.
 オックスフォード世界の民話と伝説. 東京, 講談社, 1964-65. 12 v.
 Picard, Barbara Leonie. (retold) Tales of the Norse gods and heroes. London, Oxford Univ. Press, 1953. x, 312 p.
 バイル編. ロビン・フッドのゆかいな冒険. 村山知義訳. 東京, 岩波, 1951. 2 v. <岩波少年少女文学全集 2>
 世界童話文学全集. 東京, 講談社, 1959-61. 18 v.
 世界児童文学全集. 東京, あかね書房, 1967-68. 15 v.
 トルストイ, A. イワンのばか. 金子幸彦訳. 東京, 岩波, 1955. 298 p. <岩波少年文庫 98>
 トルストイ, A & プラウトフ, M. まほうの馬. 高杉一郎, 田中泰子訳. 東京, 岩波, 1964. 164 p. <岩波おはなしの本>
 矢崎源九郎編. 子どもに聞かせる世界の民話. 東京, 実業之日本社, 1964. 398 p.

IX. ストーリーテリング

1. ストーリーテリングの意義

- (1) 語ることばの生命力
- (2) 直接語ることによる心の触れ合い
- (3) 口碑として伝承された文学の最も適切な伝達方法
- (4) 伝承文学の価値の再認識
- (5) 子どもに変化と安らぎを与える。
- (6) 朗読との相違

2. ストーリーの選択

- (1) 自分で読んでたのしく, 話してやりたいと思うものを選ぶ。
- (2) 準備する価値のあるものを選ぶ。
- (3) ストーリーの構成のしっかりしているものを選ぶ。

起承転結, 全体の構成, ことば(語り口), 感覚, 比喩の難易, 登場人物の数, 性格描写, 劇的要素などの諸点に留意する。

- (4) 子どもたちの年齢, 性別, 人数にふさわしいものを選ぶ。

3〜5才 絵本にとりあげられる程度の内容のもの

5〜6分程度の長さ

児童図書研究 シラバス, I

- 5〜8 才 リズミカルなくいかえしの要素
プロットの単純なもの
登場人物の親しみやすいもの
- 8〜10 才 ストーリーテリングの最も適した年令対象
バラエティー
10〜20 分
- 11〜12 才 英雄物語, 神話, 詩, 伝記
ストーリーテリングとブックトークの併用

- (5) ストーリーテリングに適さないもの
話中の話のでてくるもの
伏線のあるプロットのもの
登場人物の多いもの
風刺, 比喩の強いもの
感傷的なもの
センセーショナル・煽情的なもの
道徳の表面にでたもの
名作の幼年向き翻案
方言の強いもの
事実と虚構の混然としたもの

3. ストーリーテリングの準備

- (1) ストーリーをくりかえし読むこと。
- (2) ストーリーの構成をつかむこと。
- (3) 文体および表現法を学ぶこと。
- (4) ストーリーを記憶すること。
- (5) すらすら話せるように反覆練習すること。
- (6) 話す直前の予習は避けること。

4. 話し方の技術。

- (1) 「むかし, むかし」という調子ではじめる。
- (2) 声はゆっくり, はっきり, 十分な声量で話す。
- (3) 聞き手の子どもたちに注意をはらう。
- (4) 間を効果的に使う。
話のvariety
特別な意味をもったことばの前
難解なことばの前後
登場人物の会話の前後
新しい登場人物を紹介する前
- (5) 話すスピード, テンポを変える。
- (6) 顔の表情, 特に目を利用する。
- (7) ジェスチャー。抑制して自然なジェスチャーに限る。
- (8) 話し終わった後, 聞き手の子どもたちの気分を

尊重して, 余分な注釈やお説教でしめくくらないこと。

5. ストーリーテリングの応用

- (1) 楽しみを与え, 緊張から解放するために図書館で, 保育の場で, 学習の日常生活の場で
- (2) 絵を描く材料として
- (3) ストーリーの劇化の手がかりとして
- (4) 社会科学学習の場で
- (5) 国語科学学習の場で
- (6) 家庭で

6. 図書館におけるストーリーテリング・プログラム。

- (1) 年間計画として
- (2) その意義
- (3) 対象の年令・人数
- (4) 会場の広さ, ふんい気
- (5) ストーリーテラーの準備に要する時間配当
- (6) 実施の日時, 季節, 月, 曜日, 時間
- (7) 事前の予告, ポスター, 案内, 入場券など
- (8) 当日の児童室および会場の管理
- (9) 展示, その他

参考文献

- Arbuthnot, M. H. Storytelling and reading aloud.
<Arbuthnot. M. H. *Children and books*. Chicago, Scott and Foresman and Co., 1964> p. 376-396.
Association for Childhood Education (International) *Storytelling*... Washington, D. C., Association for Childhood Education, 1942. 36 p.
- Bryant, Sara C. *How to tell stories to children*. Boston, New York, Houghton Mifflin, 1905. 260 p.
- Galbraith, Ruth Budd. *Course for the Storytellers; an outline*. New York, Wilson, 1943. 15 p.
- Hill, Ruth. A. "Storytelling around the world," *Library journal*, vol. 65, p. 285-9, 1940.
- Martignoni, Margaret E. *Family reading and Storytelling*. New York, Grolier Society Inc., 1954. 21 p.
- 間崎ルリ子. お話のやり方. 東京, 児童図書館研究会, 1965. 21 p.
- Moore, Vardine. *Pre-school story hour*. New York, London, the Scarecrow Press, 1966. 123 p.
- Sawyer, Ruth. *How to tell a story*. Written for Compton's pictured Encyclopedia, Chicago, Compton and Co., 9 p.
- . *The way of the storyteller*. Rev. ed. New York, Viking Press., 1962. 360 p.
- Shedlock, Marie L. *The art of the storyteller*,

foreword by Anne Carroll Moore. 3d. ed. and rev. with a new bibliography by Eularie Steinmetz. New York, Dover Publication, 1952. 290 p.

Steinmetz, E. "Storytelling versus recording," *Horn Book*, vol. 24, p. 163-172. 1948.

Thorne-Thomsen, Gudrum. *Storytelling and stories I tell*. New York, Viking Press. 1956. 15 p.

渡辺茂男. "読書指導とストーリーテリング," *学校図書館*, vol. 153-156, 1963.

———. ストーリーテリング. <小河内芳子編. 児童図書館. 東京, J. L. A., 1967> p. 30-31

渡辺茂男. ストーリーテリング. <児童図書館ハンドブック. 東京, J. A. L., 1963> p. 26-27.

———. ストーリーテリング <阪本一郎編. 読書指導事典. 東京, 平凡社, 1961> p. 240-241.

———. "ストーリーテリングの実際," *学校図書館*, vol. 98. 1958. p. 21-23.

———. "図書館とお話," *子どもの図書館* (児童図書研究会) vol. 4. no. 3-4, 6-8.

リスト

Barker, Augusta, comp. *Stories; a list of stories to tell and to read aloud*. 5th rev. ed. New York, New York. Public Library, 1960. 77 p.

Cathon, Laura E., Margaret Hodges, and Virginia A. Russell, comp. *Stories to tell to children; a selected list for use by libraries, school, clubs and by radio and television storytellers with a special listing of stories for holidays programs*. 7th ed. Carnegie Library of Pittsburgh, Boys and Girls Department, 1960. 114 p.

Enoch Pratt Free Library, Baltimore. Children's Dept. *Stories to tell*; rev. and edited by M. Salome Batt, Baltimore, 1948.

Jinnette, Isabella, ed. *Stories to tell; a list of*

stories with annotations. Rev. ed. Baltimore, Enoch Pratt Free Library, 1956. 76 p.

松岡享子. お話の資料 (パンフレット)

Moore, Anne Carrol. *Seven stories high*; rev. ed. Reprinted from *Compton's Encyclopedia*. Chicago, Compton, 1952. 16 p.

New York. Public Library. *Stories; a list of stories to tell and to read aloud*. comp by Steinmetz. 4th. ed. New York Public Library, 1949.

Philadelphia. Free Library. Committee of children's literature. *Let's tell a story*. Rev. ed. Philadelphia, 1958. 12 p.

Anthology and Recording

Arbutnot, May H. Comp. *The Arbutnot anthology of children's literature*; single volume edition of Time for Poetry, Time for Fairy Tales and Time for True Tales. Rev. ed. Chicago, Scott, Foresman, 1961. 207, 418. 459 p.

Baker, Augusta, comp. *The talking tree; fairy tales from 15 lands*. Philadelphia, Lippincott, 1955. 255 p.

Colwell, Eileen, comp. *A storyteller's choice, a selection of stories, with notes on how to tell them*. New York, Walck, 1964. 225 p.

今江祥智, 中川正文, 松居直, 渡辺茂男編. おはなしきぎましょ. (ストーリーテリング・テープ) 日本教図, 1967. 全6集5時テープ36本.

木下順二. 山のせいくらべ; 山本安英が読む日本の童話. 山本安英朗読. 滝平二郎画. 東京, 風濤社, ぺりかん社, 1968. 65 p. 20 cm. LP. 4 枚.

松谷みよ子. 日本の民話. 宇野重吉朗読. 滝平二郎画. 東京, 風濤社, ぺりかん社, 1968. 61 p. 20 cm. LP. 4 枚.

(図書館・情報学科)